

ぼうしをかぶりたい

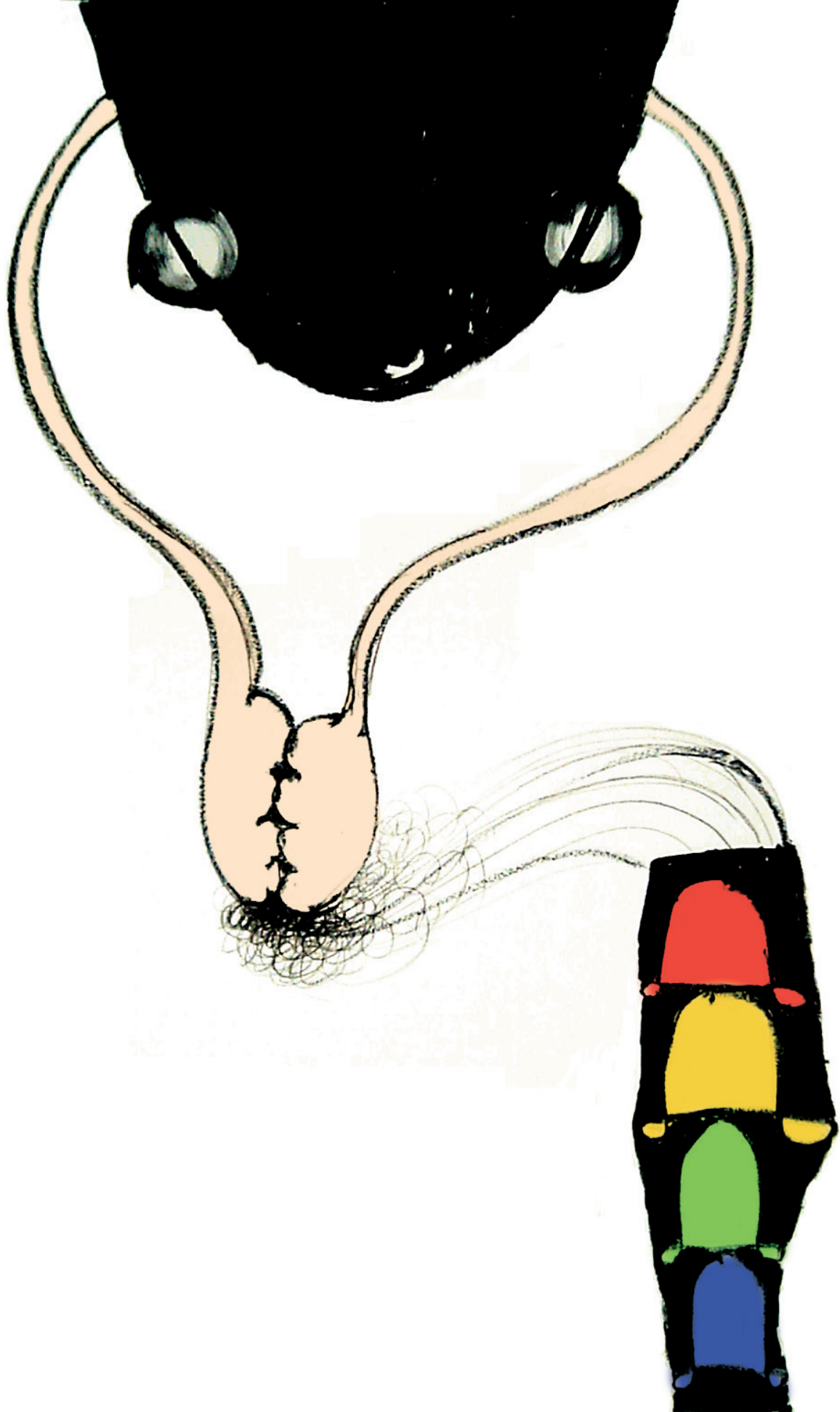
もっさりくん。

いつもいつも

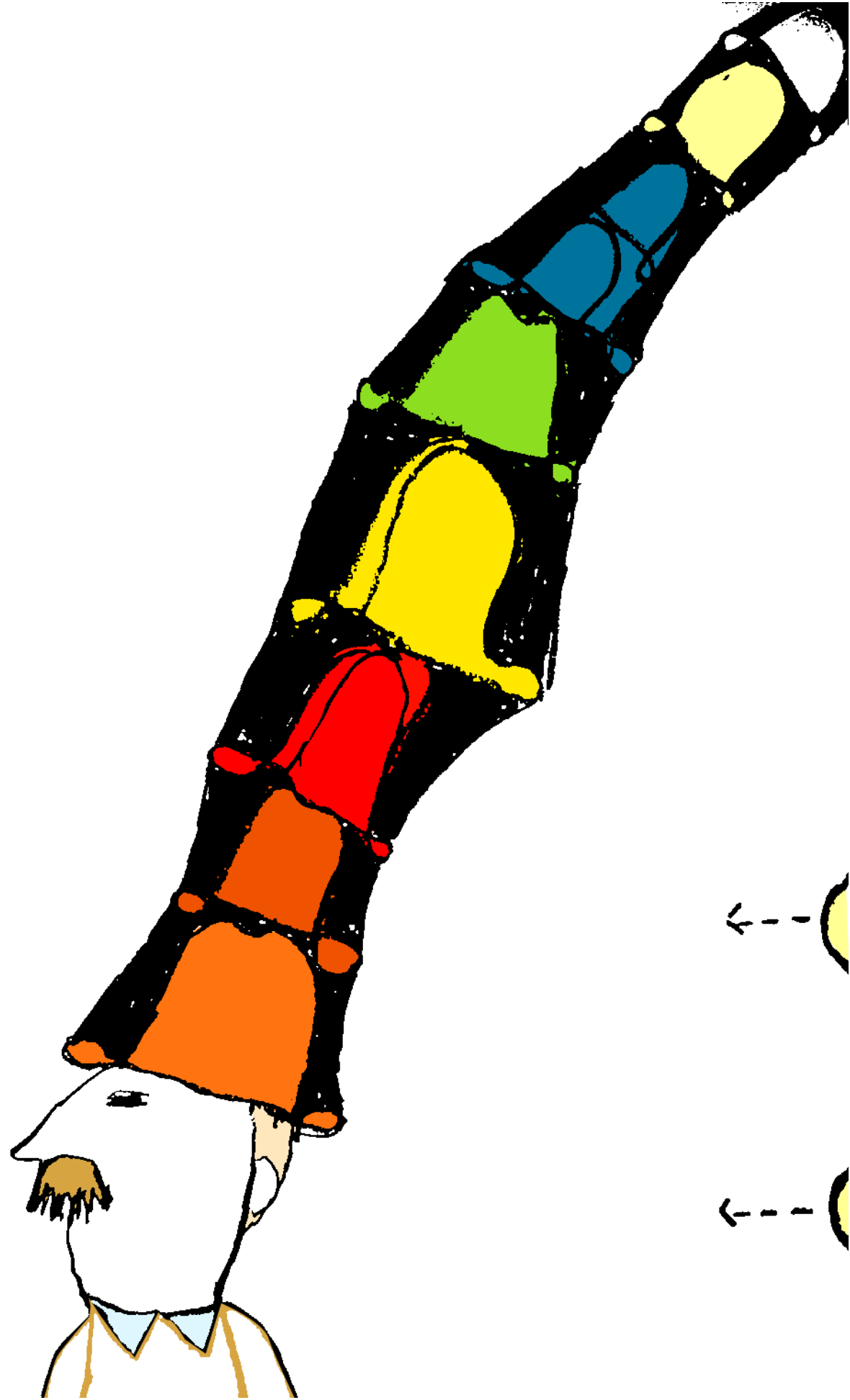
つぶしちゃう。

お空はとべるのに

ぼうしはつぶしちゃう。



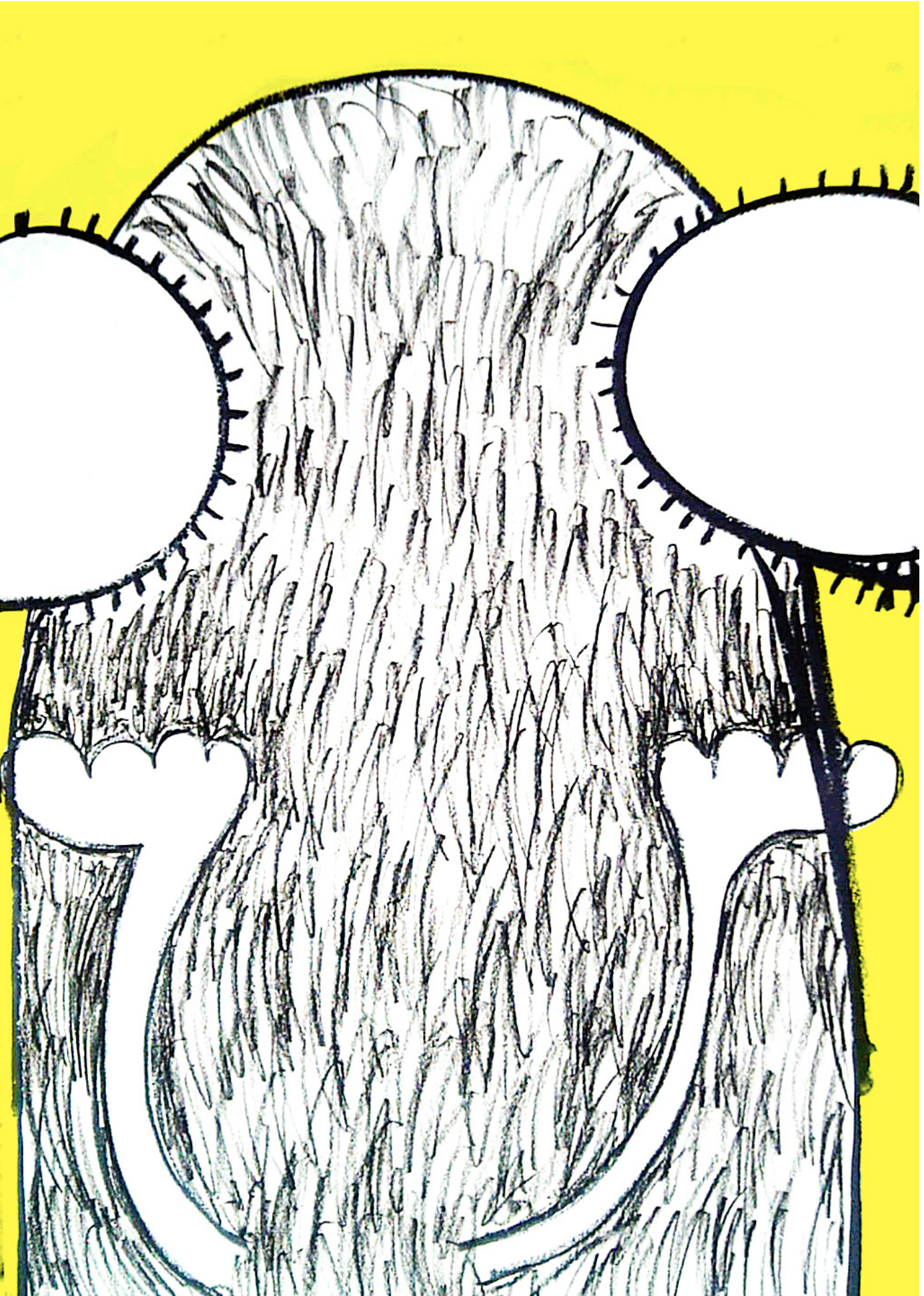
りょうてのあいだを
ぼうしはすりぬけちゃう。



ぬ
おおっっっ

あの 紳士の

なんと ぼうしの 似合うこと!!!



ウラヤマシイ……！

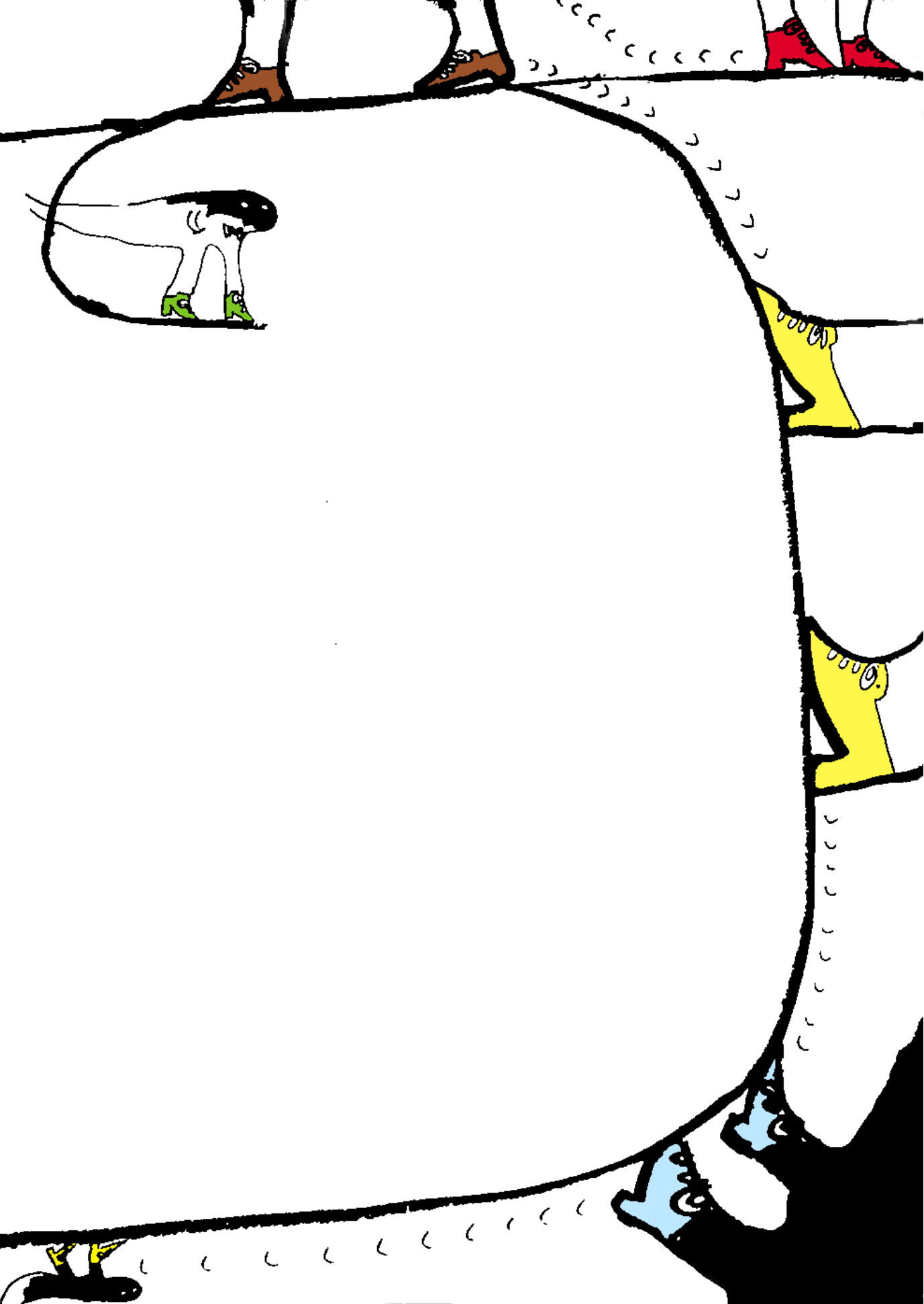


もっさりくん、

まずは

紳士のマネをして

ひもぐつ はいてみる。

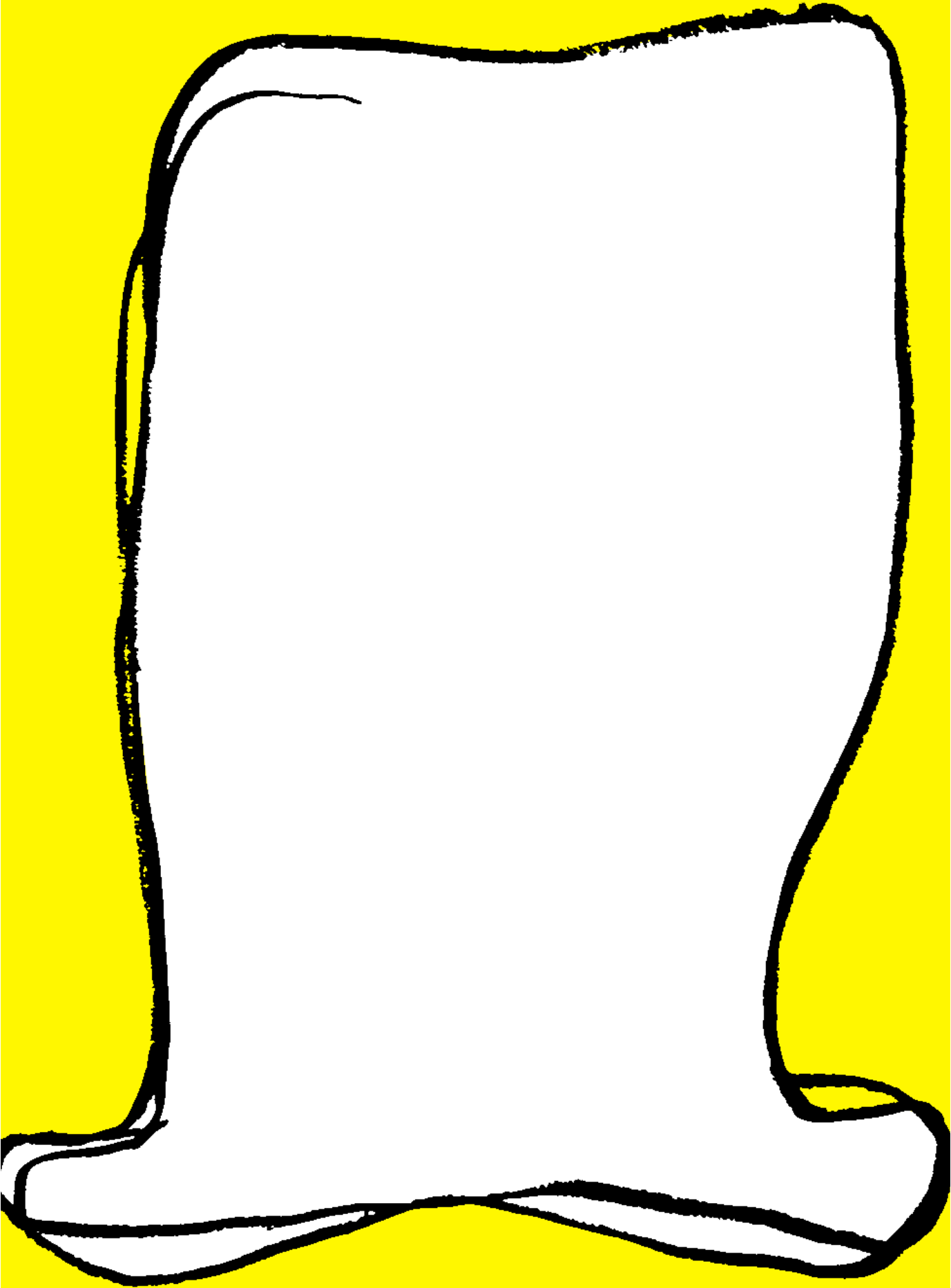


ひもぐつ があると

どじまでも あるいて いける。

ほんとに

どじまでもいけます。



けれど

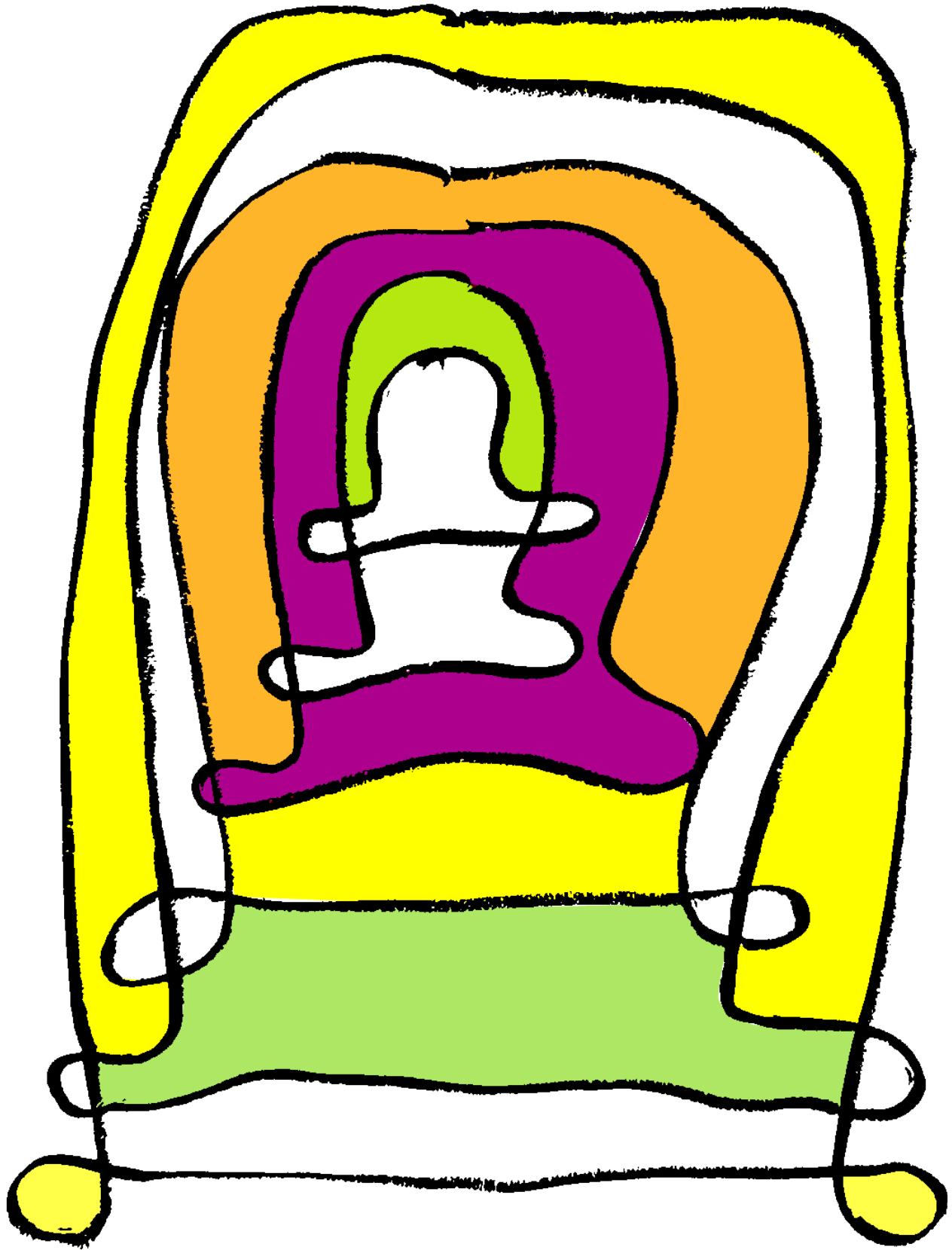
かんじんのぼうしが
みつからないよ。

やーい

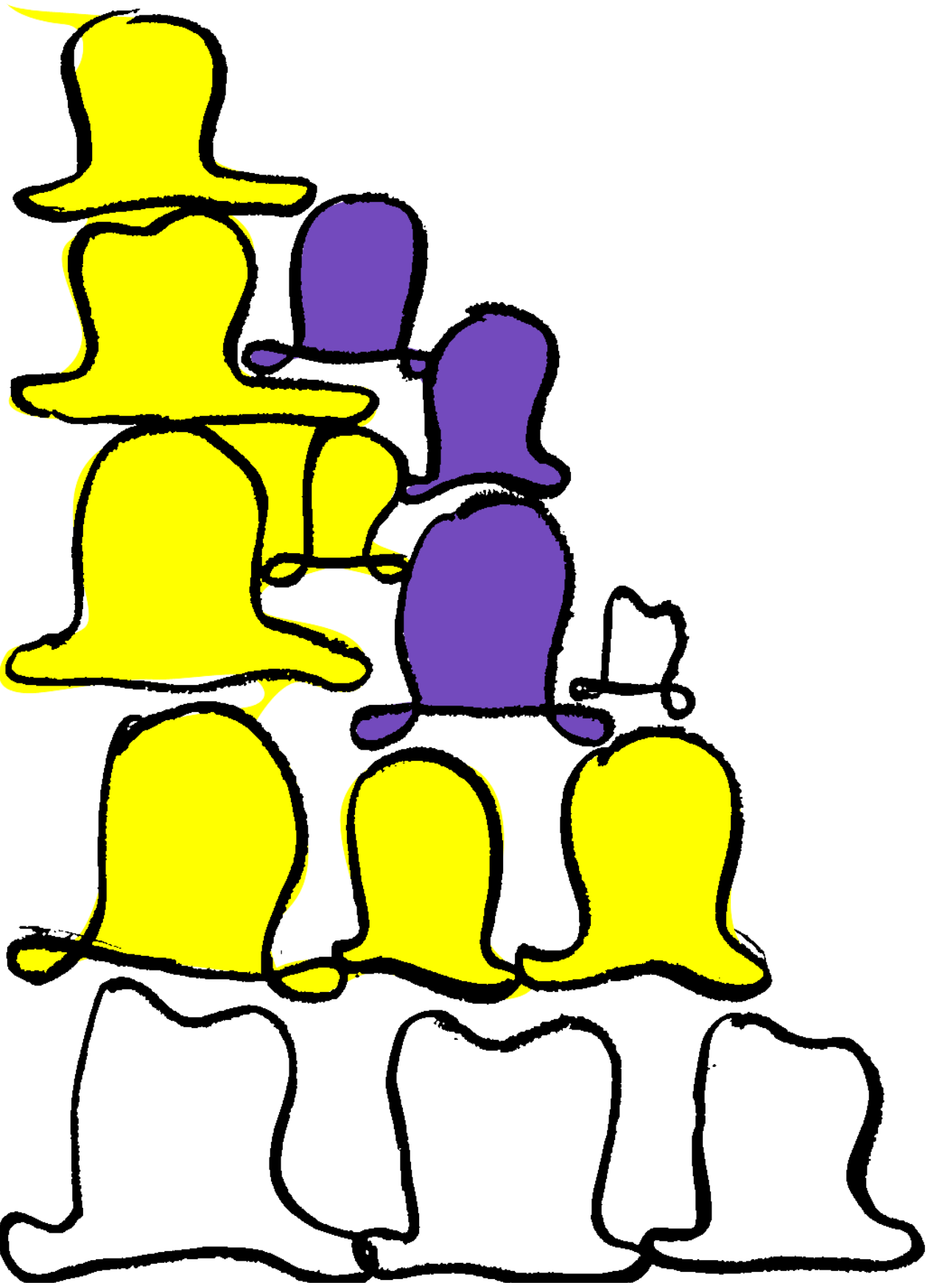
ほうし

やーい

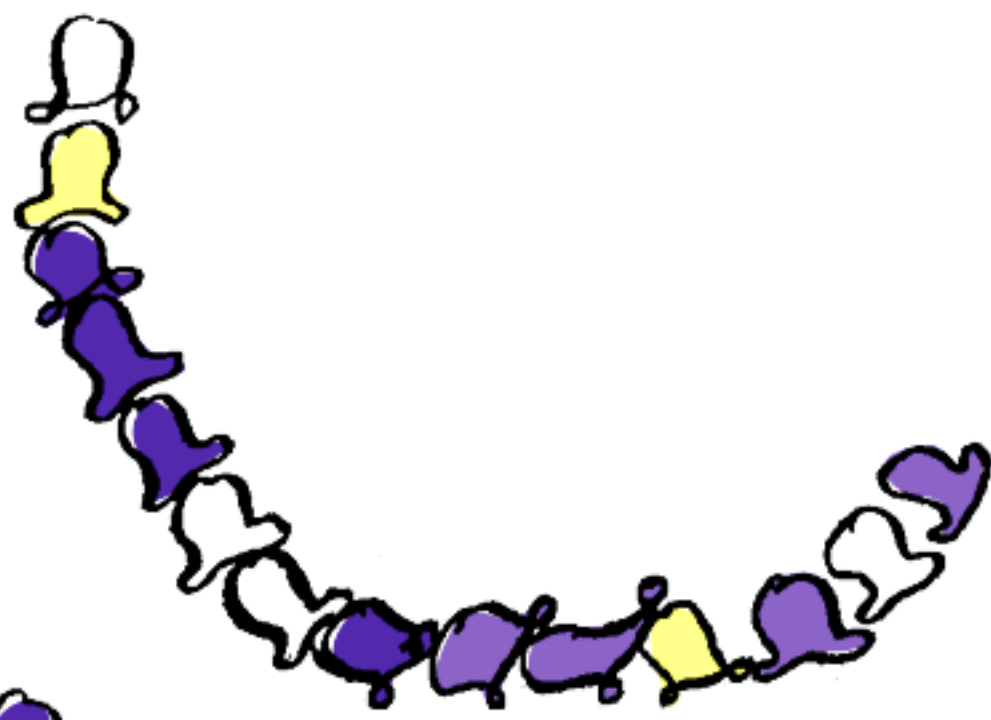
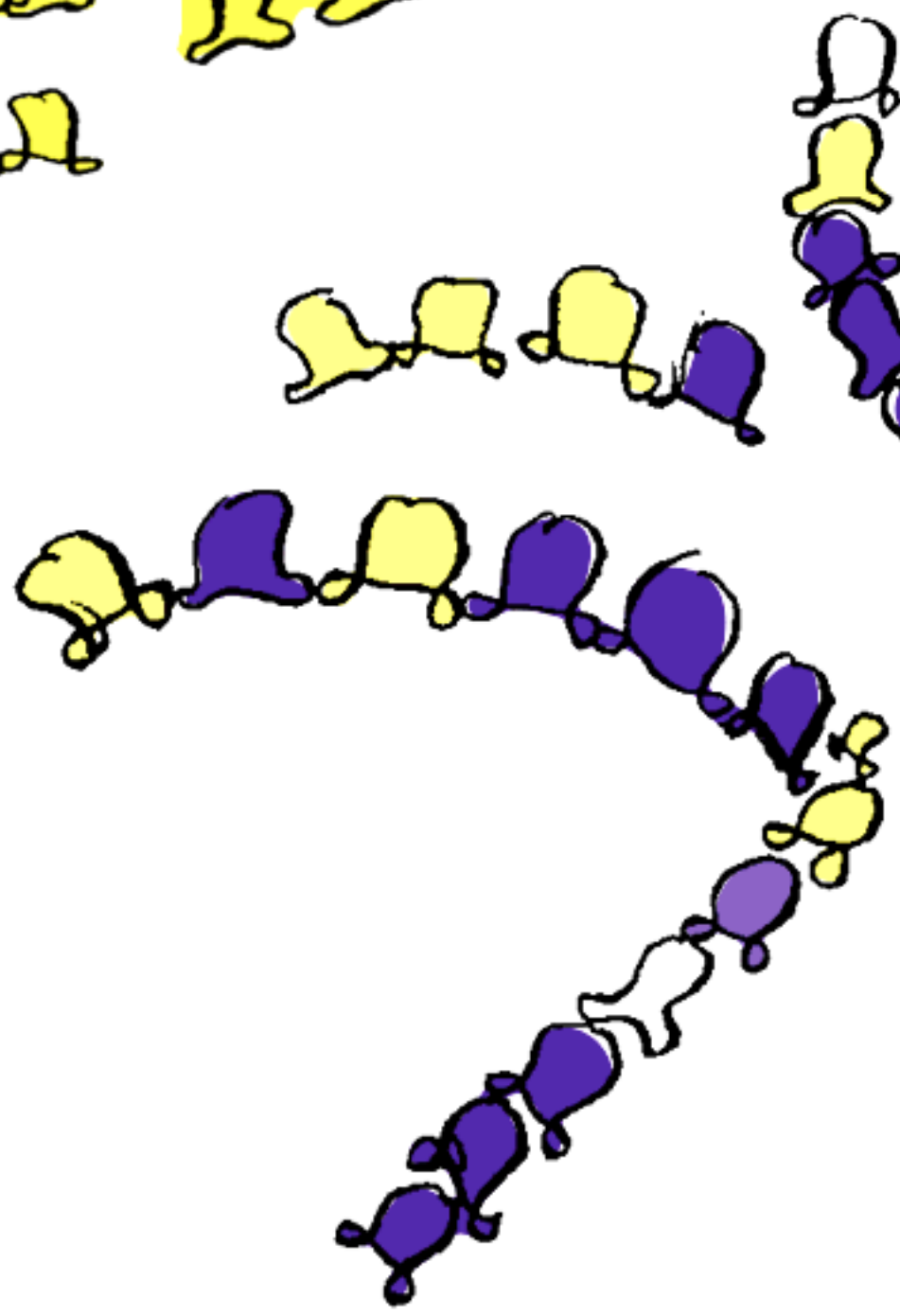
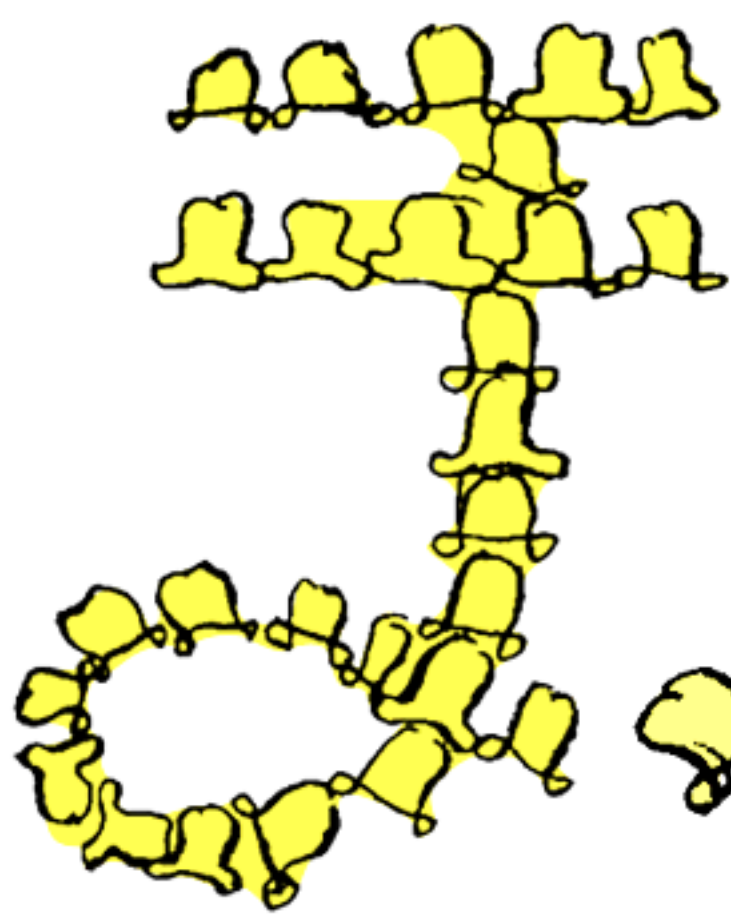
ほうし やーい

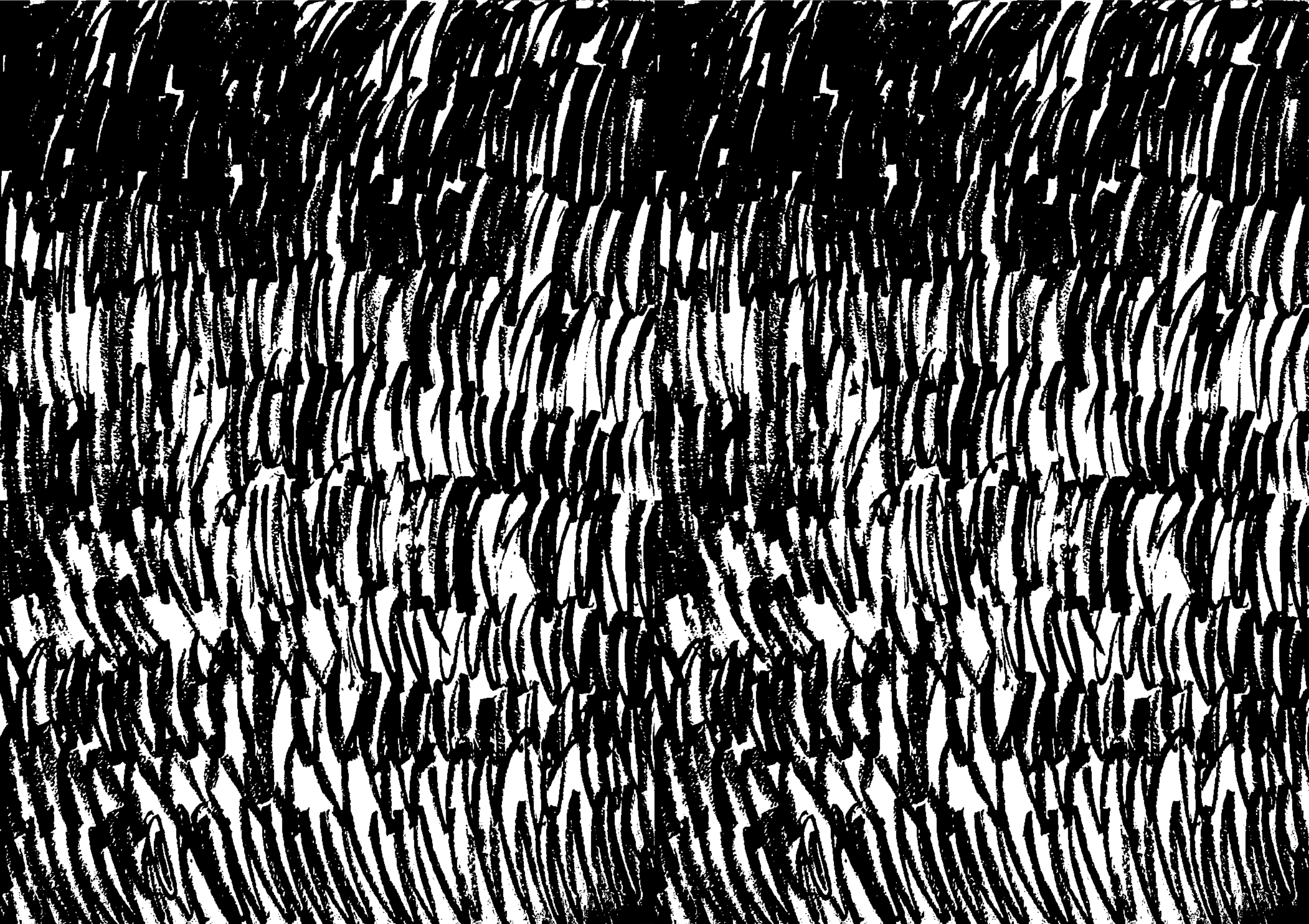


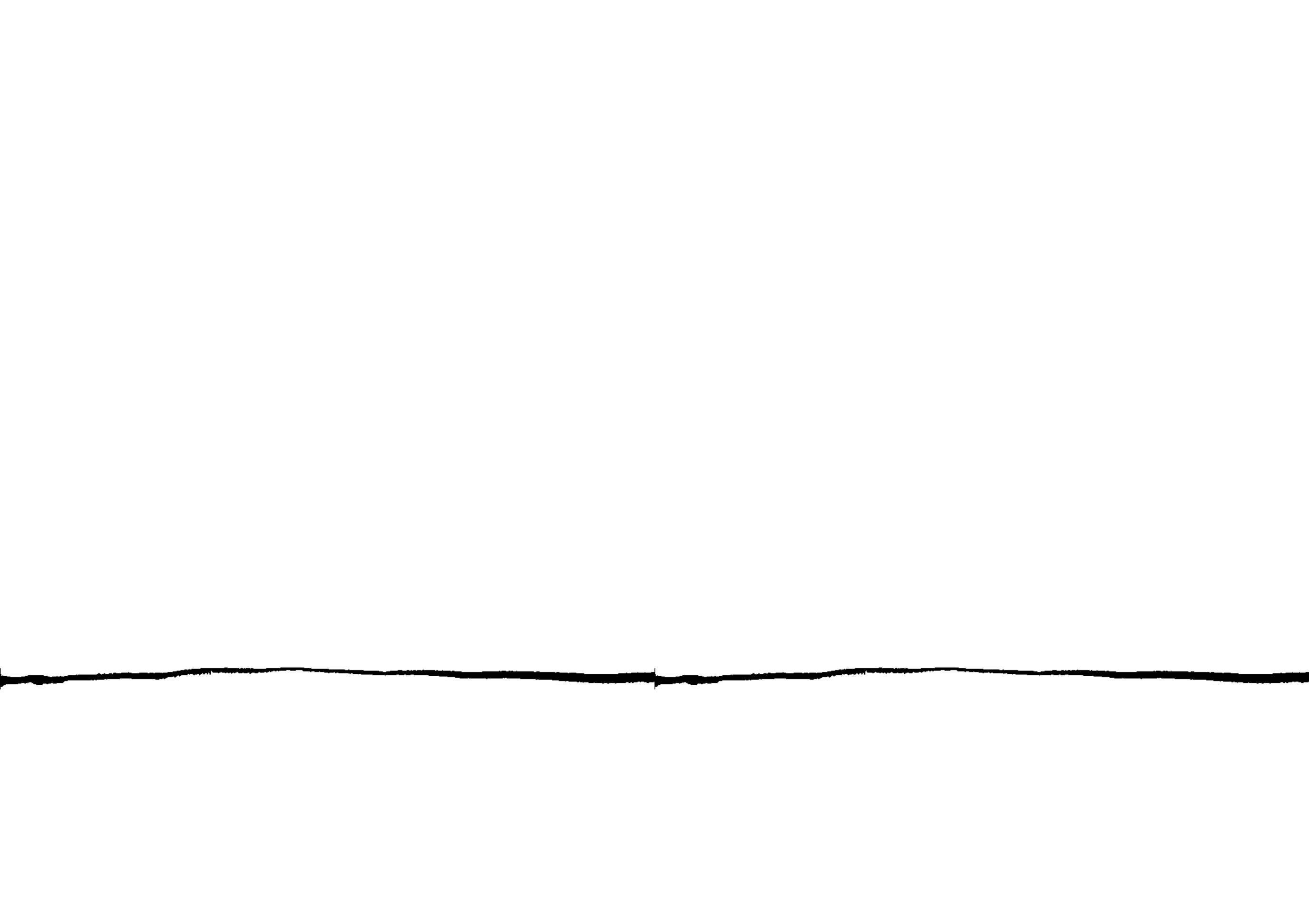
ぼろし
やーい

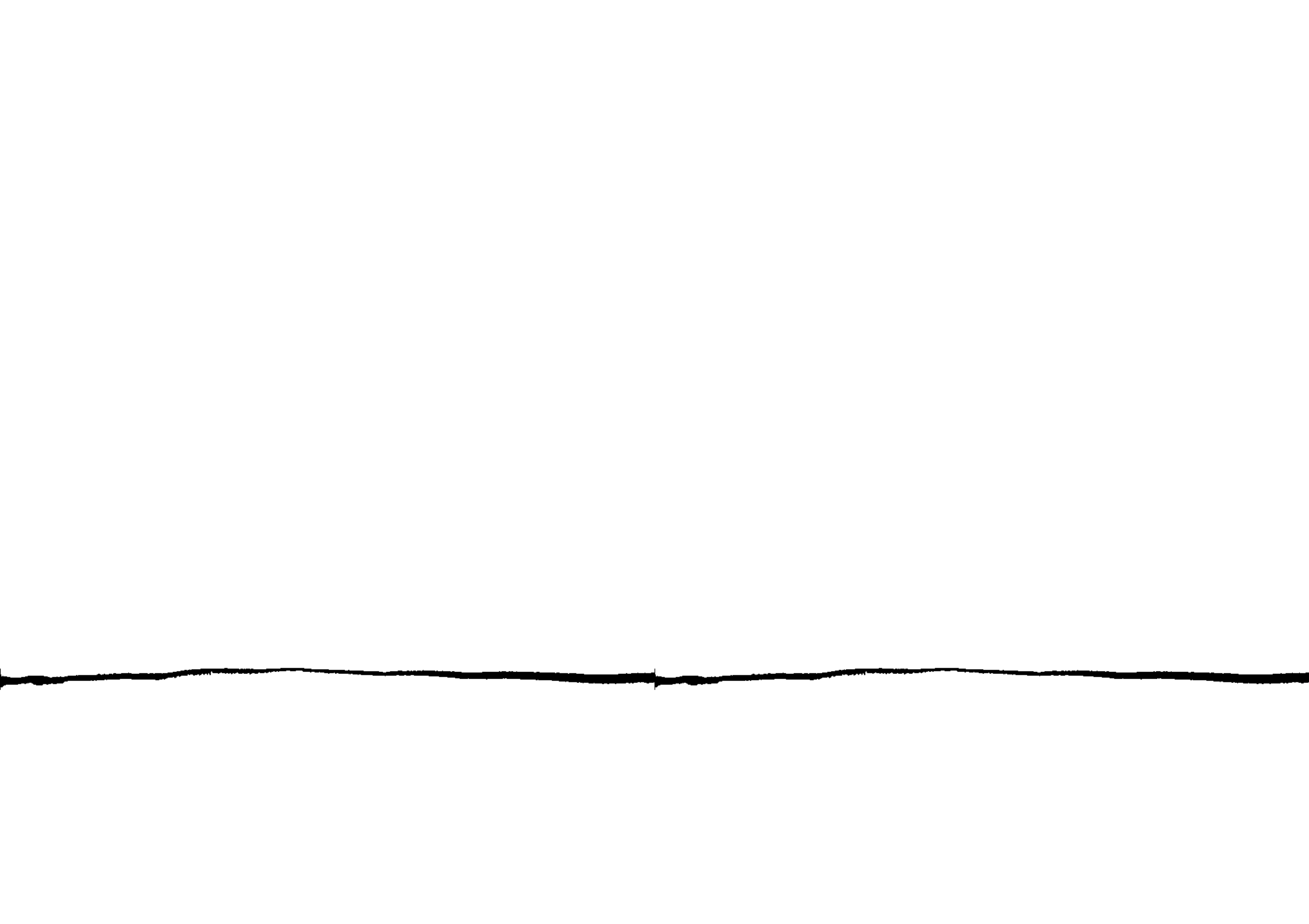


ぼ

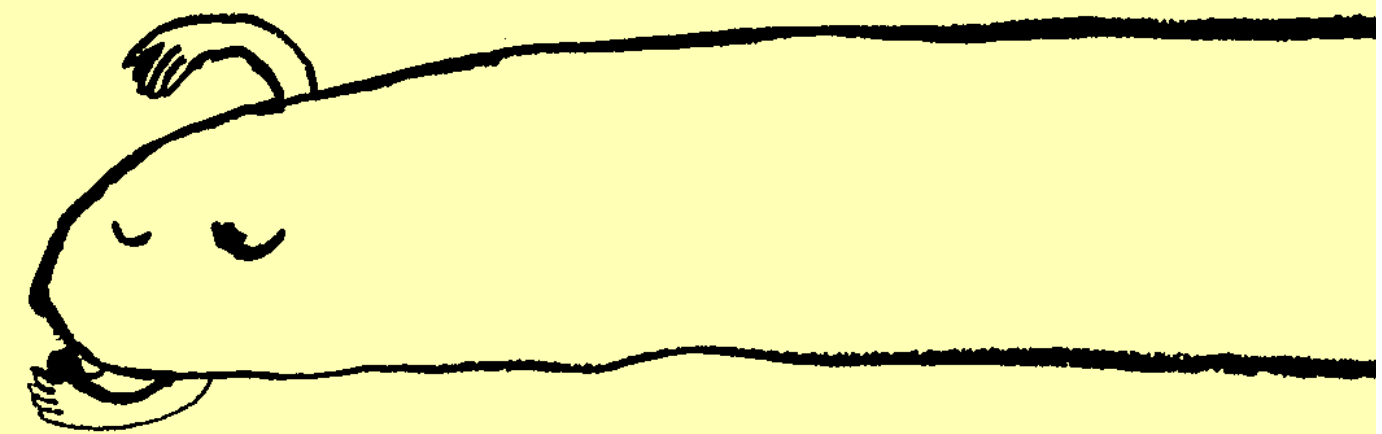


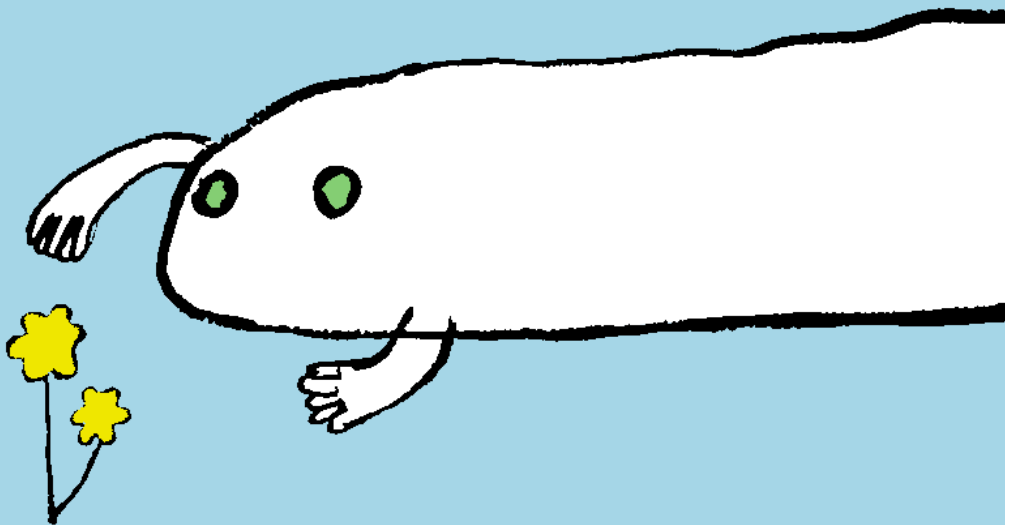




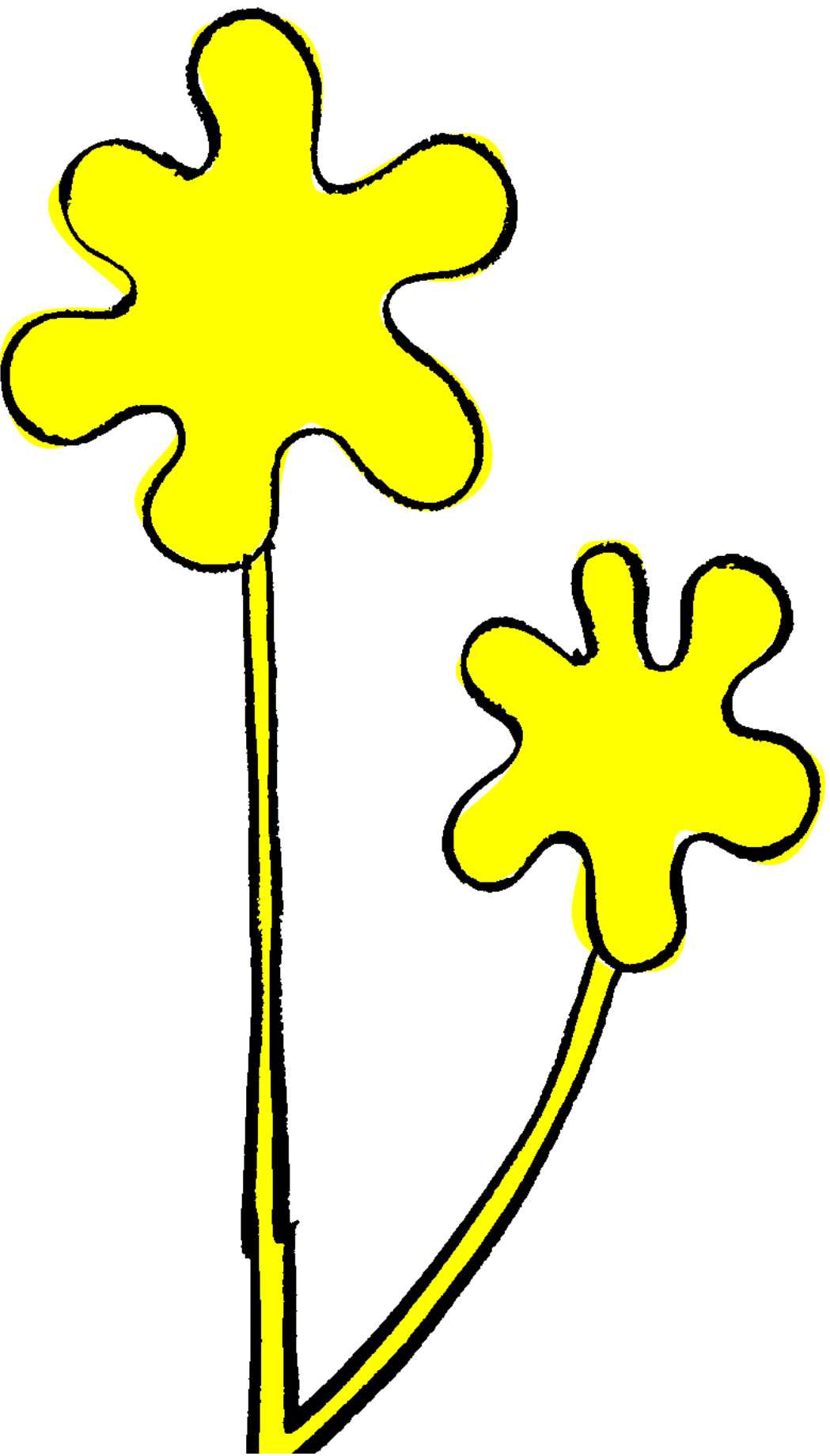


いつのまにか
ねむってしまっていた
もっさりくん。





めざめて
きがつくと
目のまえに
お花が
ありました。



お花をみていると
もっさりくんは
ぼうしのごとは
どうでもよくなりました。